



S.I.SHIMITSU&CO.,LTD.


投資家・株主のみなさまへ

第**61**期

中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



 石光商事株式会社
証券コード:2750

□ 株主のみなさまへ



株主のみなさま方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第61期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 **森本 茂**

○ 事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出の増加や政府の経済対策効果等により、景気は回復に向けた動きがみられたものの、海外景気の下振れ懸念、円高の進行や株式市場の低迷等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、デフレの影響や企業間競争による低価格化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合って商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指しております。

また、当期は緊縮体制（「ロスのゼロ化」、「コスト削減」、「商品や取引の選択と集中」）の継続に加え、成長戦略として「国内営業強化」、「海外営業強化」、「体制強化」という3つの強化策に取り組んでおります。

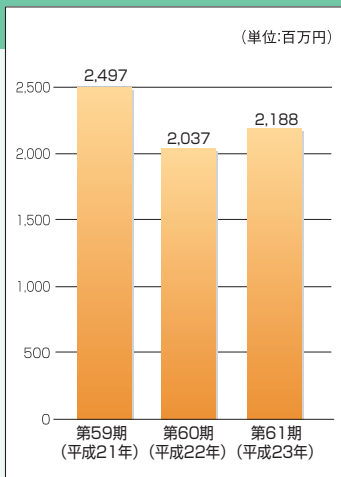
その結果、当中間期における売上高は16,438百万円と前年同期比234百万円の増加となりました。

利益面につきましては、売上高の増加および売上総利益率の上昇により、売上総利益は前年同期に比べ増加いたしました。また、販売費及び一般管理費の節減にも努めてまいりましたが、確定給付企業年金の年金資産の時価評価下落に伴う退職給付費用が前年同期に比べ91百万円増加したこと等により、営業利益は94百万円（前年同期比52.0%減少）、経常利益は100百万円（前年同期比28.6%減少）、中間純利益は59百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。



商品別概況

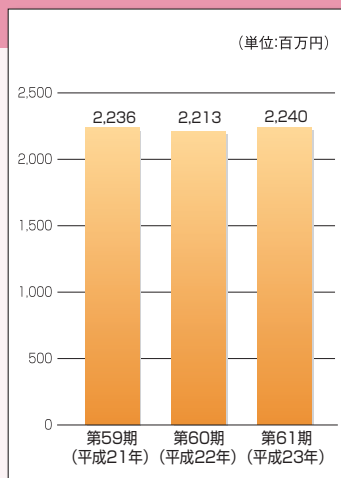
● コーヒー生豆



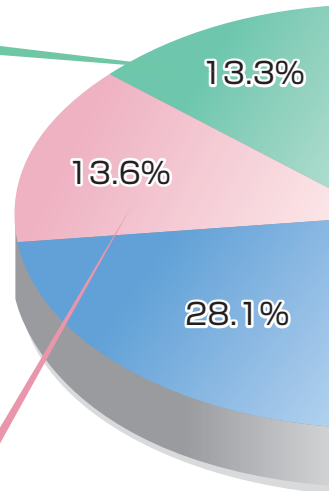
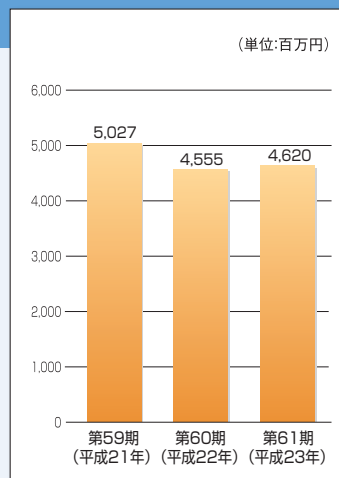
コーヒー生豆の売上高は販売数量の増加および相場高騰に伴う販売単価の上昇により、2,188百万円(前年同期比7.4%増加)となりました。

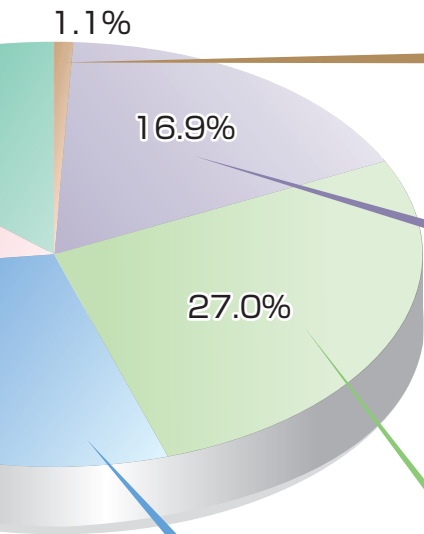


● 飲料製品および原料



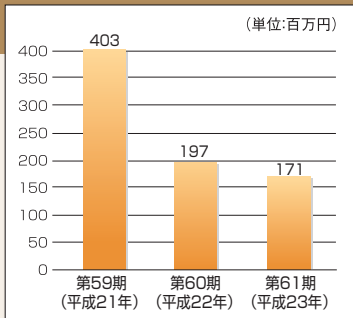
レギュラーコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が増加したものの、コーヒーバッグが減少したことにより、前年同期比4.5%減少いたしました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料および家庭用袋入商品が増加したことにより、前年同期比29.1%増加いたしました。茶類の売上高は飲料メーカー向け原料が減少したものの、家庭用紅茶ティーバッグが増加したことにより、前年同期比0.4%増加いたしました。その結果、飲料製品および原料の売上高は2,240百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。





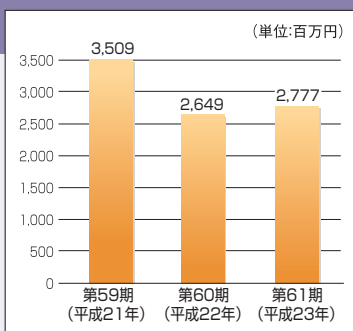
●常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高はイタリア産ホールトマトや農産缶詰が増加したものの、イタリア産パスタやフルーツ缶詰が減少したことにより、前年同期比微減いたしました。国内メーカー商品の売上高は国内販売が減少したものの、東南アジア向けに加え、中国およびカナダ向けの輸出が増加したことにより、前年同期比1.6%増加いたしました。その結果、常温食品の売上高は4,620百万円（前年同期比1.4%増加）となりました。



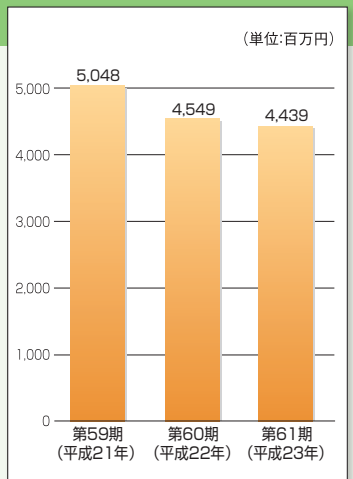
●その他

その他の売上高につきましては、171百万円（13.2%減少）となりました。



●食品原料

栗原料・栗甘露煮製品およびトマト加工品が減少したものの、生鮮野菜が増加いたしました。その結果、食品原料の売上高は2,777百万円（前年同期比4.8%増加）となりました。



●冷凍食品

輸入水産加工品の売上高はタコ加工品が減少したものの、エビ加工品が増加したことにより、前年同期比1.5%増加いたしました。輸入調理加工品の売上高は豚肉加工品および鶏肉加工品が増加したことにより、前年同期比7.3%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は国内販売および輸出が減少したことにより、前年同期比6.7%減少いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は4,439百万円（前年同期比2.4%減少）となりました。

□ 中間連結財務諸表 要旨

○ 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,894	11,513
固定資産	6,108	6,100
有形固定資産	2,634	2,697
無形固定資産	142	171
投資その他の資産	3,332	3,231
繰延資産	19	13
資産合計	18,022	17,627
(負債の部)		
流動負債	7,033	6,806
固定負債	3,729	3,854
負債合計	10,762	10,661
(純資産の部)		
株主資本	7,190	7,003
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,318	6,028
自己株式	△107	△4
評価・換算差額等	△113	△223
その他有価証券評価差額金	4	1
繰延ヘッジ損益	△118	△225
少数株主持分	182	186
純資産合計	7,259	6,966
負債・純資産合計	18,022	17,627

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	16,438	16,203
売上原価	14,207	14,090
売上総利益	2,231	2,113
販売費及び一般管理費	2,136	1,917
営業利益	94	196
営業外収益	83	46
営業外費用	77	101
経常利益	100	140
特別利益	6	—
特別損失	3	5
税金等調整前中間純利益	102	135
法人税、住民税及び事業税	45	60
法人税等調整額	△2	11
少数株主損益調整前四半期純利益	58	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
中間純利益	59	62

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当中間連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△641	453
投資活動による キャッシュ・フロー	△42	△44
財務活動による キャッシュ・フロー	△210	△563
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△4	△2
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△899	△157
現金及び現金同等物の 期首残高	2,821	1,762
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,922	1,604

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



IR情報

<http://www.ishimitsu.co.jp/>



□ 中間個別財務諸表 要旨 (参考)

○ 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成21年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,582	11,259
固定資産	3,323	3,403
有形固定資産	2,169	2,189
無形固定資産	129	167
投資その他の資産	1,024	1,046
繰延資産	19	13
資産合計	14,924	14,676
(負債の部)		
流動負債	7,015	6,818
固定負債	3,622	3,735
負債合計	10,637	10,554
(純資産の部)		
株主資本	4,404	4,336
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,531	3,361
自己株式	△107	△4
評価・換算差額等	△117	△214
その他有価証券評価差額金	1	10
繰延ヘッジ損益	△118	△225
純資産合計	4,287	4,122
負債・純資産合計	14,924	14,676

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

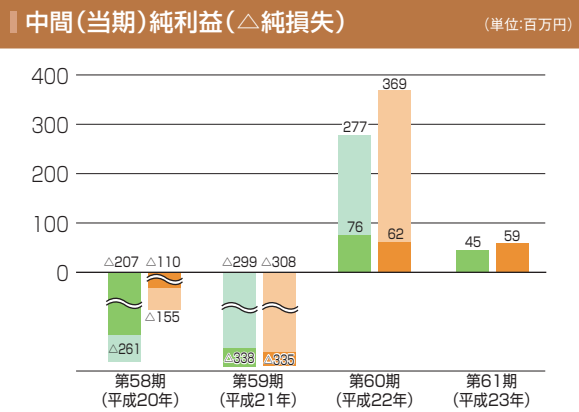
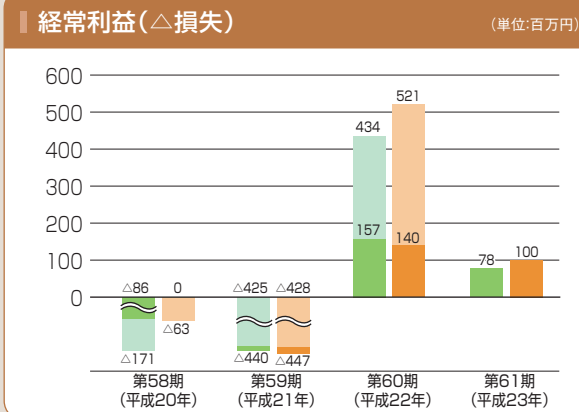
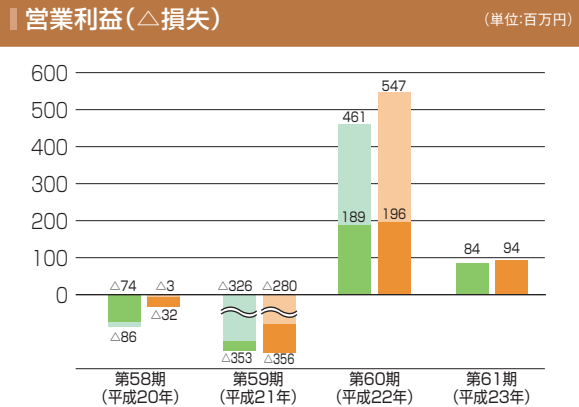
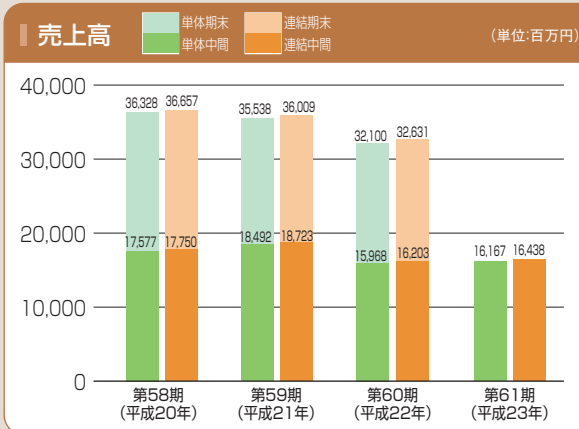
○ 中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	16,167	15,968
売上原価	14,158	14,047
売上総利益	2,009	1,920
販売費及び一般管理費	1,925	1,731
営業利益	84	189
営業外収益	74	71
営業外費用	80	103
経常利益	78	157
特別利益	11	—
特別損失	3	5
税引前中間純利益	86	152
法人税、住民税及び事業税	40	56
法人税等調整額	0	19
中間純利益	45	76

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○ 業績ハイライト



○ 会社の概要

会社設立 昭和26年5月
 会社名 石光商事株式会社
 資本金 62,320万円
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
 従業員数 180名

○ 役員

代表取締役社長 森本 茂
 専務取締役 草場 鉄郎
 常務取締役 山根 清文
 取締役相談役 石光 輝男
 取締役 上野 知成
 取締役 白石 和子
 常勤監査役 山岸 公夫
 監査役 入江 和義
 監査役 樋口 進二

○ 株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株
 ②発行済株式総数 8,000,000株
 ③株主数 6,614名
 ④大株主

株主名	持株数	持株比率
石光商事従業員持株会	458千株	5.9%
石光 輝男	398	5.2
株式会社三井住友銀行	252	3.3
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.6
竹田 和平	200	2.6
丸紅株式会社	192	2.5
石光 百合	165	2.1
伊藤忠商事株式会社	150	1.9

(注)持株比率は、自己株式数(291,660株)控除して算出しております。

○ 株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	10名 (0.15%)	887,660株 (11.10%)
金融商品取引業者	13名 (0.20%)	81,794株 (1.02%)
その他の法人	39名 (0.59%)	1,023,340株 (12.79%)
外国法人等	2名 (0.03%)	5,100株 (0.06%)
個人・その他	6,550名 (99.03%)	6,002,106株 (75.03%)
合計	6,614名 (100.00%)	8,000,000株 (100.00%)

○グループ情報

当 社

当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーン等に販売しております。

シーカフェー(株)

当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。

ユーエスフーズ(株)

コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。

プレミオ珈琲(株)

コーヒー生豆、常温食品および冷凍食品を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。

岩屋サービス(株)

関西地区における当社の物流業務を行っております。

キング珈琲(株)

コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品および冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。

関西アライドコーヒーロースターズ(株)

コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの製造・加工受託を行っております。

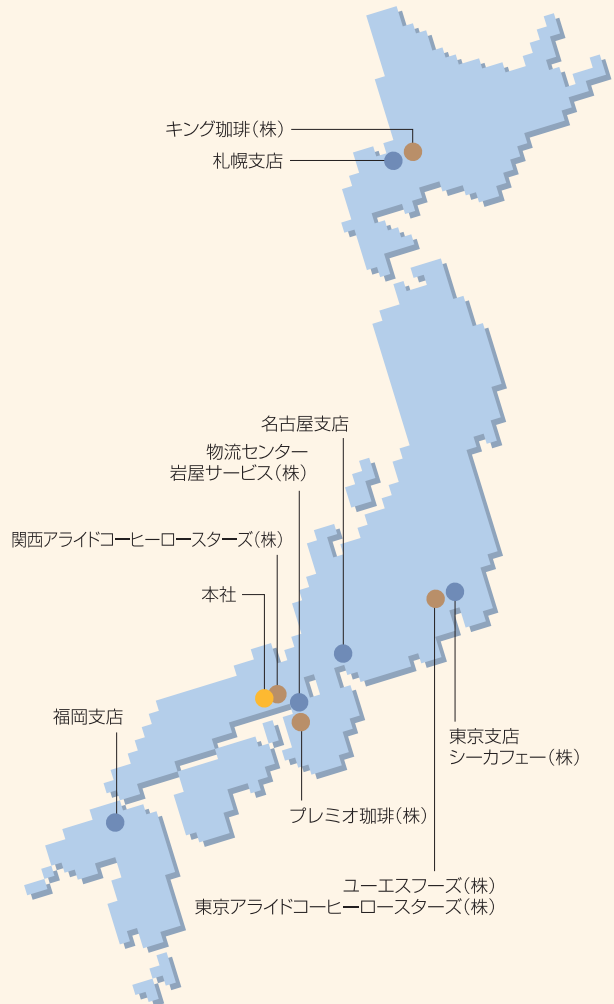
東京アライドコーヒーロースターズ(株)

コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカーおよび量販店等に販売しております。

事業所

- 本 社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東 京 支 店 東京都大田区山王1-4-6
- 福 岡 支 店 福岡市博多区堅粕3-13-13
- 名 古 屋 支 店 名古屋市北区五反田町91
- 札 幌 支 店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24

本 社



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-094-777
上場証券取引所 公告の方法	大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード) 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

S.ISHIMITSU & CO.,LTD.



この中間報告書は、環境に配慮し、大豆油インキを使用しております。